

さ たけしよざんひつ たけ ぶんちようず  
佐竹曙山筆 竹に文鳥図

- 1 種 別 有形文化財（絵画）
- 2 名称及び員数 佐竹曙山筆 竹に文鳥図 1幅
- 3 形 状 絹本著色 軸装
- 4 寸 法 縦136.0cm、横40.0cm
- 5 制 作 者 佐竹曙山
- 6 制 作 年 代 江戸時代後期
- 7 所 在 地 秋田市中通二丁目3番8号 秋田市立千秋美術館
- 8 所 有 者 秋田市
- 9 説 明

曙山の作品には博物図譜等の動植物を基に画面を構成したものがあり、本作は代表的な作品の一つである。画面左に大きく竹の一部を配し、枝や葉などの位置も効果的で竹の力強い生命力と画品の高さを感じさせる美しい構図である。モチーフは曙山の「写生帖」に収められている、竹と2羽の文鳥で、竹はやや下から、文鳥は横や上から描かれ、視点は一つではない。

本作では東洋画の伝統的な裏彩色の手法がとられており、緑青や藍といった日本画の顔料と舶来のプルシャンブルーとを組み合わせることで、竹の緑にみずみずしい透明感を生み出した。また、背景にごく薄い胡粉をひくことで、竹の緑が一層際立ち、節に施された薄墨による陰影表現も自然で美しく、写実的描写への工夫が凝らされている。

落款は、画面中央右側に「源義敦画」の墨署と、朱文鼎印「Siozan Schildereij」、朱文円印「Segutter vol Beminnen」の2つの蘭語印が押されている。

#### 参考

重要美術品認定「絹本著色竹ニ文鳥圖 佐竹曙山筆」 昭和11年  
(1936) 9月12日

